

ISSN0286-312X

専修大学社会科学研究所月報

No. 574

2011. 4. 20

望月清司先生に聞く

質問者 村上俊介（本学経済学部教授）

2009年10月～2010年1月収録

目 次

はじめに	1
農奴制研究	3
『資本制生産に先行する諸形態』研究	12
『マルクス歴史理論の研究』へのプロセス	21
『マルクス歴史理論の研究』	33
『ゴータ綱領批判』の翻訳と解説	47
第三世界論・接合理論・原蓄論	50
編集後記	59

はじめに

長年希望していた望月清司先生へのインタビューが実現した。これまで何度もお願いしながら、実現できないでいたが、このたびようやくお引き受けいただけることになった。2009年に先生の主著『マルクス歴史理論の研究』（1973年、岩波書店）が中国語訳されたのを機に、訳者（清華大学教授 韓立新氏）との意見交換の中で、ご自身のご研究を振り返られたことが、お引き受けいただけるきっかけになったかもしれない。お話をうかがうにあたって、インタビューではご自身の研究史についてのみ語るが、個人史について語るつもりはない、とのことであったので、当方の質問もそれに限定した。

しかし許される限りで、ごく簡単に先生のプロフィールを紹介しておく。望月清司先生は